

一般会計の決算額は、歳入 197 億 7,180 万円、歳出 196 億 8,923 万円で差し引き 8,257 万円となりました。この額から翌年度へ繰り越すべき財源 3,384 万円を差し引いた、4,873 万円が実質的な黒字です。特別会計は、全て黒字です。企業会計は、水道事業で黒字、下水道事業は減価償却費が高額なため赤字、農業共済事業は家畜共済の損失により赤字、病院事業は上半期の入院患者数が大幅に減少したことによる収入の減少などにより赤字となりました。

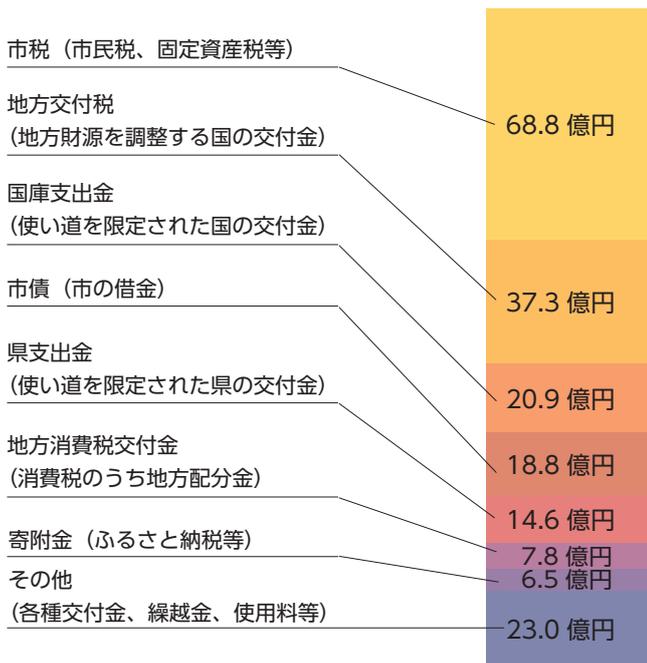
このほか、病院事業会計では、流動負債と流動資産の差引額が 1 億 9 千万円の資金不足となり、医業収益 46 億 4 千万円に対する資金不足比率は 4.1%となりました。これは経過措置の無くなった賞与引当金等の 2 億円を流動負債に算入したことによるものです。資金不足は発生していますが、経営健全化計画の策定等が義務付けられる経営健全化基準の 20.0%は下回っています。

会計種別		歳入	歳出	収支
一般会計		197 億 7,180 万円	196 億 8,923 万円	8,257 万円
特別会計	国民健康保険	61 億 4,006 万円	57 億 9,883 万円	3 億 4,123 万円
	介護保険	45 億 4,547 万円	45 億 1,512 万円	3,035 万円
	後期高齢者医療	5 億 9,931 万円	5 億 8,504 万円	1,427 万円
	公園墓地整備事業	1,012 万円	354 万円	658 万円
企業会計	水道事業	12 億 2,780 万円	11 億 4,893 万円	7,887 万円
	下水道事業	21 億 666 万円	22 億 6,374 万円	△ 1 億 5,708 万円
	農業共済事業	1 億 337 万円	1 億 413 万円	△ 76 万円
	病院事業	54 億 4,753 万円	56 億 6,889 万円	△ 2 億 2,136 万円

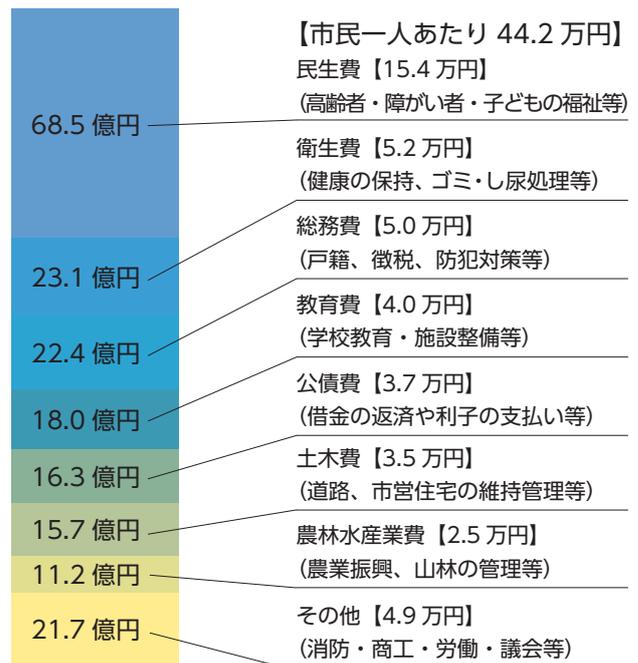
●一般会計の歳入歳出

対前年度比で歳入が約 5 億 9 千万円の減、歳出が約 6 億 2 千万円の減となりました。主な要因は、市民会館文化ホールの耐震・改修工事などの大規模建設事業が完了したためです。

歳入 197 億 7,180 万円



歳出 196 億 8,923 万円



●実施した主な事業

市制 50 周年を記念し、記念式典やドリームベースボール等を実施
2,987 万円 (総務費)



昨年 4 月開催した市制 50 周年記念式典

幼児期の教育と保育の充実を図るため、北条ならの実こども園を整備
4 億 2,560 万円 (民生費)



平成 30 年 4 月開園の北条ならの実こども園

丸山総合公園の芝生広場に新しい遊具を設置
1,637 万円 (土木費)

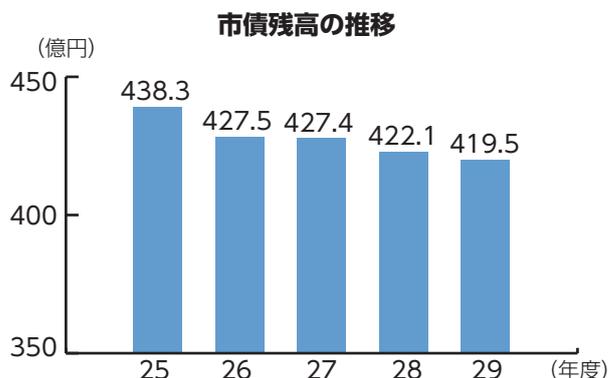
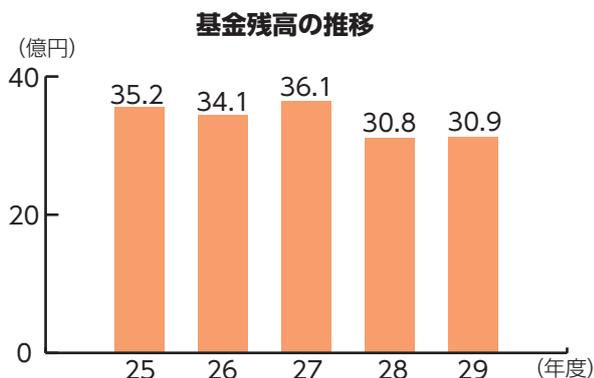


新設された遊具

●基金残高（貯金）と市債残高（借金）の状況

基金残高は、前年度と比べると約1千万円増加し、30億9千万円となりました。基金は、災害や経済不況などの予測しがたい財政負担に備えて積み立てています。市民一人あたりでは約7万円の貯金となります。

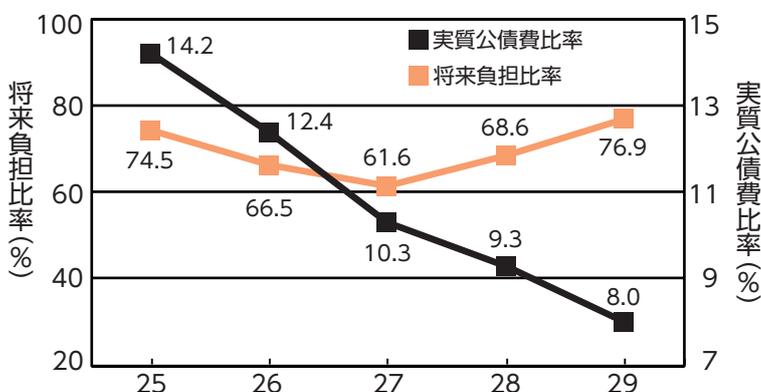
市全体の市債残高は、前年度と比べると約2億6千万円減少し、419億5千万円となりました。市民一人あたりでは、約94万円の借金となります。



●財政の健全化判断比率の状況

平成18年度から計画的に公債費負担の軽減を図ってきたため、財政の健全化を判断する4つの比率はすべて健全です。

平成29年度決算時点の実質公債費比率は、下水道事業債の償還額の減少等から8.0%（前年度比1.3ポイント改善）となりました。また、将来負担比率は、一般会計において老朽施設の耐震化等により市債の発行が増加したことなどから、76.9%（同8.3ポイント悪化）となりました。



●財政の4つの健全化判断比率

	29年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率（普通会計の赤字額から財政運営の深刻度）	赤字額なし (△0.47%)	13.11%	20.0%
連結実質赤字比率（全会計の赤字額から財政運営の深刻度）	赤字額なし (△18.37%)	18.11%	30.0%
実質公債費比率（借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度）	8.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率（市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度）	76.9%	350.0%	—

道路ネットワークの整備実現に向けて

問合先／施設管理課 ☎42-8750 fax42-1998
shisetsu@city.kasai.lg.jp

加西市、西脇市、多可町、丹波市は、北播磨ハイランドふるさと街道整備促進期成同盟会を結成し、南は山陽自動車道加古川北ICから、北近畿豊岡自動車道氷上ICに至る延長約55kmの道路ネットワークの整備実現に向けた活動に取り組んでいます。

平成30年8月28日加西市民会館小ホールで、第21回総会を開催し、国会議員、県会議員、県担当者に整備促進に向けた要望書を提出しました。



左から石川県議、大豊県議、西村市長、内藤県議